

きょう支給日 受給者に不安と怒り

「物価高なのに年金減らすの!? これじゃ生活できない」「一。きょうは田舎、年金がこれまでより0.4%減額されて支給されます。年金受給者の間には、不安と怒りが広がっています。」 (武田祐一)

「新年度の年金通知を見てびっくりしました。年間7700円近くも減らされます」と話すのは東京都内に住む元会社員の阿部修二さん(76)です。「厚生年金と国民年金の合計額から、介護保険料と住民税が差し引かれ、ひと月当たりの生活費は10万円ほど。さらに今年から後期高齢者医療保険に切り替わり、医療費の負担増が心配だ」といいます。

「食費でも何でも値上がりしているのに。庶民から年金や消費税をむしり取るのはやめて、大企業・富裕層から税金を取って社会保障にまわすべきです」と声を震わせます。

ただでさえ少ない

「ただでさえ少ない年金を減らすなんて、やめてほしい」と話すのは都内で鮮魚店を営む女性(79)。6年前に夫を亡くし、一人で

食品 電気 ガス 水道 電話代 医療費...

物価高でも年金減!?

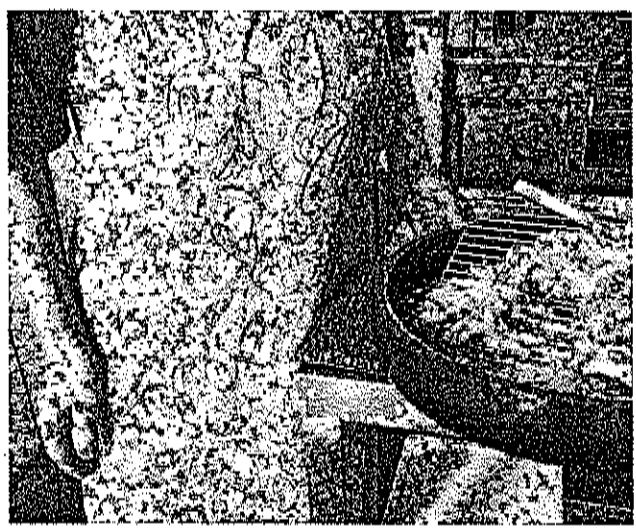
高齢者「生活できない」

生活を切り詰めています。年金は年額50万円ほど。そこから介護保険料を1万円近く引かれ、今度の改定でさらに2千円減りました。こんなじゃ暮らしていきなさいと憤ります。

元縫製業の女性(83)は一人暮らしで、年金だけが頼りです。「月7万円ちょっとあり、ロシアによるウクラ



かつての作品を手に、生活苦について話す元ガラス工芸職人=東京都内



年金引き下げなど現政権の悪政に憤る自営業の女性=東京都内

「大變態に胸を痛めています。戦争は絶対ダメ。岸田自公政権は軍事費を増やすというけれど、とんでもない。国民が生活で、こんなに困っているのだから、消費税を5%に戻すとか暮らしにお金を使っていきたいね」

「参院選で変えて」元ガラス工芸職人の男性(85)は「物価が上がっているのだから、年金の支給額も上げてほしい」といいます。

20年前に脳梗塞になりました。ある程度回復したものの、左手が利がなくなりました。精密な作業が困難になり、廃業。それ以来、年金生活です。

「みんな、ぎりぎりです。毎月の、6千円かかる。75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担の2倍化はやめてほしい」と訴えます。

「岸田政権は軍事費を2倍にするとか、改憲めざすとか、やりたい放題だ。今度の参院選で政治を変えていかねば。そのためにも日本共産党に頑張ってもらいたい」と期待を寄せます。